

令和3年度 第1回豊中市生活支援サービス部会 議事録

令和3年(2021年)9月8日(水)

午後2時～午後3時10分

地域共生センター3階大会議室及びWEB

《出席状況》 豊中市生活支援サービス部会員5名中4名出席

豊中市生活支援サービス部会

◎大野委員、秦委員、今井委員、樋口委員

(◎＝部会長 委員名簿順)

事務局

福祉部：甲斐次長兼福祉指導監査課長

地域共生課：佐野課長

長寿安心課：北村課長

長寿社会政策課：堂本課長、山岸課長補佐、伊藤副主幹、溝田、小林、中根

豊中市社会福祉協議会：勝部室長、佐藤課長

《傍聴者》0名

□議題

(1) 副部会長の指名について

(2) 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）の生活支援コーディネーターの活動結果について 【資料1・2】

(3) 令和3年度生活支援コーディネーター活動報告について 【資料3・4・5】

□議事内容

事務局

定刻になりましたので、令和3年度第1回豊中市生活支援サービス部会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

本日の出席状況を報告いたします。部会員5名のうち1名欠席で4名が出席されております。

したがいまして、要綱で定める部会員数の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しております。

【WEBの説明、資料確認、委員と事務局紹介】

議案1

部会長

■副部会長の指名について

議題の1ですが、今年度から新体制となりましたので、豊中市生活支援サービス部会要綱第3条第5項に基づき、改めて副部会長の指名を行いたいと思います。

副部会長ですが、秦委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

よろしいですか。はい、ありがとうございます。そうしましたら、秦部会員、よろしいでしょうか。

部会員

はい、よろしくお願いいいたします。改めましてお世話になります。

部会長

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは、議題の第7期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、平成30年度から令和2年度の分の生活支援コーディネーターの活動結果について事務局よりご説明をお願いいたします。

議案2

事務局

■第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）の生活支援コーディネーターの活動結果について

【資料1】生活支援コーディネーター中期支援計画（平成30年度～32年度）

【資料2】（平成30年～令和2年度）生活支援コーディネーター活動報告

部会長

今のご説明につきまして、皆様からご質問やご意見はございませんか。

少し教えていただきたいんですが、調査の中で、福祉委員が楽しめなくなったという回答が一番多いということでしたが、そんなにどの活動も大きな差があるわけではないのかなとも思ったりもしますが、この割合はちょっと置いておきまして、実際にどのような訴えやお声を出しておられるのか教えていただけませんか。

事務局

登録ボランティアの方々に関しては、ボランティアセンターからいろんなボランティア依頼をしますのですが、その活動が減ったということで、違う活動に移行されています。例えば趣味の活動などに参加されていた方々が生活スタイルを変えていくというようなご回答が比較的多かったように思います。

ぐんぐん元気塾に参加されている方々は、ほとんどテレビを見ているというお話ばかりが出てきておりますので、今年は敬老の集いの番組を作ってテレビから発信するというような形に変えてみようかということで、新たな取組みをしているところです。

福祉委員さんに関しては、外出自粛や緊急事態になる前は活動を実施してくださいと発信しておりましたので、チラシをまいてポスターを掲示したら、中止になって、また

剥がしに行くと、こういう繰り返しが非常に多いので、完全に活動が止まっているわけではないですが、常にこうやろうとしては気持ちが萎えるという、その繰り返しがあって、非常にモチベーションが、やろうとはしているのにできないというところの苦しさを書いておられる方が多かったように思います。

部会長

ぐんぐん元気塾が今ちょっとできないということですが、例えば、タブレットの指導なんかもされているということで、もちろん従来の参加者全員というわけにはいかないでしょうけど、スマホが使える方に、Z o o mでリアルタイムでみんなでおうちのほうでやるとか、何かしらそんなふうなことはまだちょっと難しそうですね。

事務局

校区福祉委員会では、タブレットを校区ごとに配っていますので、500人規模ぐらいの研修を、各センターで10人ずつ聞いていただくような研修とか会合というのは、昨年の秋口からできるようになっています。各小学校区に「一人暮らし老人の会」というのがありまして、会長さんの平均年齢が85歳を超えています。そのメンバーもZ o o mで総会を行っています。いろんなことでチャレンジは始まっているんですが、通信環境がご家庭によってかなり違いますので、各ご家庭からZ o o mを使って何かをするというところまではなかなか高齢者のお宅では難しいです。

やっぱり皆さん集まりたいんですよね。集まって顔を見て、元気かということを確認したいので、おはがきとか往復はがきとか、脳トレのクイズを書いたものを家にポステイングして、それを回答して持ってきて、安否確認するといったことはたくさんしてきましたが、やっぱり集まらないと体が弱るということで、ラジオ体操のスタンプみたいなものをつくっているんです。毎週、1週目、2週目、3週目、4週目で、健脚コース、普通コースみたいなものを作って、そこを歩いて帰ってきたらハンコを押すみたいな形で。緊急事態宣言になりますと、会場自体が閉鎖されるので、体操ができないんです。体操でお借りしていた福祉施設なども、外部の方は入れないので、入室ができなくて、やっぱり活動の場がどうしても限られてしまいますので、屋外で飛沫を飛ばさない中で、3密にならないことをみんなで新しい方法を構築しているというような現状です。

部会長

ありがとうございます。

他に何かご質問とかありますでしょうか。今回から初めて参加されてらっしゃる方も多いと思いますので、どんなことでもご質問いただくと、またほかの方にも分かりやすいかなと思うんですが。

そうしましたら、ちょっと申し訳ない質問になりますが、Y o u T u b eをされているということですが、あまり視聴回数が数的にはそんなに増えてないのかなという気もしていますが、こちら辺はやっぱりなかなか対象となる方の層には響きにくいですかね。

事務局

先ほど申し上げましたように、通信環境をお持ちでないということがあって、去年はY o u T u b eを入り口にして、どちらかというと、担い手の方々ですね、例えば踊りを踊っているとか、ボランティアをしたいという方々が活躍の場がなくて、モチベーションが下がるということになりますので、皆さんに教えていただくとか、そういう場と

して設定をさせていただいたんですが、それだけだと実際のところは皆さんがおうちで見られるかといったら難しい。ただ、福祉施設なんかでは、デイサービスなどでも視聴いただいております、地域のボランティアの人がそこに出ているということで喜んでいただいております。ただ、福祉施設なんかでは、デイサービスなどでも視聴いただいております、地域のボランティアの人がそこに出ているということで喜んでいただいております。ただ、福祉施設なんかでは、デイサービスなどでも視聴いただいております、地域のボランティアの人がそこに出ているということで喜んでいただいております。

今回はちょうど敬老の集いをY o u T u b eでも作らせていただくんですが、公募しましたら15団体出てきました。例えば、ブラスバンドの発表の場がないという子供たちや、地域で踊りのお稽古をしている人たちが、毎年敬老の集いに出るために練習してきたけれども、そういう方々が活動の発表の場がないということで、すごくモチベーションが下がっているということだったので、出ていただける場所を作ることで皆さんがまたお稽古だけでも頑張ろうという気持ちになるという、そういう、どちらにも影響があるような形で考えています。

多くの方に視聴いただくのは、多分テレビになるかなと思っていますので、今度は敬老の集いをテレビで見えていただく方にお楽しみいただけるような内容にしたいなと思っています。

部会長

たくさんの方に発信して、それを受けていただくというところの意義があるものもあるし、自分がY o u T u b eに登場するという、自分がそこに出るということがまた一つの意義があるという人たちもいるということですね。ありがとうございます。

ほかに何かないでしょうか。はい、どうぞ。

部会員

ご報告ありがとうございました。

私、勉強不足で初めて聞かせていただきまして、本当に多様な活動をされておられて感動いたしました。それとともに今回のコロナの影響の深刻さというのを改めて実感いたしました。私の父親も某区で2つほど活動していたんですが、今はもう全くそれが止まっているという状況です。

そんな中で、介護予防と交流と、それから社会参加という3つの中でどうやっていくんだということを改めて理解させていただいたところなんですが、例えばこれだけではないということですが、リモートで行ったりする場合に、W i - F iの通信環境の問題が一番なのか、それともタブレットをはじめとしてスマートフォンの操作の問題なのか、課題なのか。それとも、そういうデバイス、機械ですね、がないのかというふうなところ、重なり合っていると思うんですが、あえて一番の課題という、どこになるのでしょうか。教えていただけたらと思います。

事務局

どれもあるんですが、ガラケーの人が多いということももちろんありますし、それから、スマホを持っておられても、L I N Eの通話ぐらいはお孫さんとできる人たちが増えてきているので、L I N E通話のグループをつくっていくということぐらいだったらできるということで、サロンをL I N Eで通話するというやり方も実施したところもあります。ただ、わけが分からなくてやってしまうと、ものすごく通信速度が遅くなってきたとか、それから、ご家族さんから余計なことをするな、危ないぞと言われていた方

もいるようなので、コロナの緊急事態宣言が明けるのをめざして、私たちもタブレットの勉強会やスマホの勉強会というのをずっと入れてきています。

ご承知のとおり、大阪は今年に入って1か月ぐらいしか緊急事態宣言などが出てない時期がないほど、ずっと宣言が出ておりますので、本当にその隙間で何か人を集めるということについても厳しい現状が続いております。ぜひそういう環境ができるようにということで、実はこの間、大学生の支援、大学生も外に出て行けないということなので、食材支援などで応援していきまして、300人近い大学生とのつながりを持つことができたので、彼らに教えてもらえるような体制を作ったり、そういったこともやっておりますが、やっぱりこう、集まってもらって教えるというところに関しては、うまくタイミングが持てないのが現状です。知っている方々同士の範囲では、もちろん少しずつそういうこともできるんですが、一般の方々を集めてというところではなかなか今は厳しい状況だなと思うところです。

部会長

ありがとうございました。

そうしましたら、次の議題に進ませていただきたいと思います。議題3の令和3年度生活支援コーディネーター活動報告です。

議案3

■令和3年度生活支援コーディネーター活動報告について

事務局

【資料3】豊中市生活支援体制整備事業実施計画

【資料4】令和3年度（2021年度）生活支援コーディネーター活動計画

【資料5】令和3年度 生活支援コーディネーター活動状況

部会長

ありがとうございました。

今のご説明につきまして、何かご質問とかございますでしょうか。

部会員

日曜カフェのところも写真入りでご紹介いただいたので、雰囲気がとてもよく分かって有難かったです。

ご報告の中でありました生活支援コーディネーターニュースなんですけど、ホームページでは2019年2月分までしかアップされてないかと思うんですが、新しいのがあるんでしたら、アップされたほうがいいのかと思ったんですが、いかがでしょうか。

事務局

すみません、ちょっと滞っておりますので、至急アップさせていただきたいと思いません。ありがとうございます。

部会長

はい、ありがとうございます。よろしくお願いします。

今、ワクチン接種を非常に早いスピードで進めていこうとしていますよね。それで、高齢者の方は割と、もう既に多くの方が接種されていると思うんですが、国のほうも、緊急事態宣言が解除になったらワクチン接種率なんかを見ながら、いろんな活動の制限を緩めていこうかなんていう話もありますけれど、そのような状況を見ながら、またこのあたりの活動を再開したり、あるいは新しいことに取り組んだりみたいなの、そういうようなイメージを持っていてもいいのでしょうかね。

事務局

実は、我々豊中市社協では独自で新しい生活様式下での地域活動再開のためのガイドラインというのを作っています。これは事業ごとに、例えば会食会だったらこういう方式でとか、先ほどのぐんぐん元気塾だったら人数を半減してもらおうか、会場を2倍にし

ていただいて、入り口のところで検温してアルコール消毒してこういう経路で入ってくださいといったことを細かに決めております。それから、家庭訪問するときには、インターホン前でアルコールで手指消毒してからピンポンを押してくださいとか細かいことを全部決めたガイドラインを作らせていただいております。そのガイドラインがあるので、地域活動は一定やっぱり臆する方もいますが、これは専門家の感染症の先生に監修もしていただいているので、それに沿ってある意味徹底的にやっておられるので、今はやってよいという時期には安心して活動をやっておられます。その代わり、この時期はやっぱりやめましょうとか。

豊中もやっぱり3桁で、100人超えて毎日感染者が出ているような時期もあるので、そういうときは、医療逼迫の状況もありますから、もう、きちっと止めましょうというふうなことを、本当に二、三週間置きに進めろ、止めろ、進めろ、止めろみたいなことが繰り返されております。ただし、今年に入ってから、ただただ止めるということではなく、先ほどのように、やり方をさらにもう一步変えて、会場を広げるとか、そういうことだけだと、もう会場が使えない間はずっとできなくなってしまいますから、そういうことを考えた新たな方針みたいなことを出し始めて、みんなで進めてきているという現状であります。

です。他市と比べますと、感染状況は非常に厳しい状況ではありますが、全く活動が止まっています、終わっていますという感じのところも多くありますので、そんな中では地域のご協力でご前進しているかなという感じなんです。

部会長

ありがとうございます。すごいですね、それだけ細かく決められているというのは。本当に大阪の感染者数、府の感染者数の増減、豊中市も本当にもろに関連してぐっと増えていったりと私も日々びっくりしていますが、状況を見ながらできる範囲で活動を止めない、できるときはぐっとまたやっていくというふうな感じなんですね。ありがとうございます。

部会員

私、4月から社協のほうに来ておまして、社協の仕事や地域の動きを見ている中で感じたことを申し上げます。

コロナ禍の中で活動が停止されて、なかなか思うように動けない状況があります。支えるのも支えられるのも高齢者という状況の中、この計画の中で平成30年から令和2年度まで、住民意識の醸成ですよね、地域共生社会の一員であるという意識を育むということなんです。地域のほうから、このままであれば見守りができないよ、安否確認ができないよという声が社協のほうに届きます。どこまでだったらやっていいのかという声が多く聞かれます。状況を整えてくれれば、動いてもいいですよということでお答えしています。ですから、今、計画の中で謳っております市民意識の醸成、住民意識の醸成みたいなことがもうできてきているのこの感じしております。

それから、次の段階の多様な住民主体による活動の創出ですが、先ほども報告にありましたように、ぐんぐん元気塾をぐんぐんウオークにということで、こういうやり方もありますよと校区福祉委員会の会議で提案すると、今度は地域の方でそれぞれ工夫して、じゃあ、私たちはこんな形でやってみますよと。コースを3つぐらい決めまして、

坂道のあるコース、平たんなコース、短いコース、参加していただいたらスタンプカードを作りますとか。地域のほうでの安否確認は、往復はがきを出したり、そこにクイズを入れてみたり。その住民主体というところもかなりできてきていると思います。私、4月に社協に来まして、地域と社協、市の結びつきみたいなのがこんなことになっているのかということで、ちょっとびっくりしたり、喜んだりしているところがございます。

部会長

ありがとうございます。本当にそのとおり、まとめていただいてそれぞれの活動というのが、目標としているところと密接に絡んでいるなというのがよく分かりました。

コロナがなかったらとか、たればを言っても仕方がないんですけど、今よりどんなふうに活動が広がっていたのかな、なんて思うとすごく残念ではありますが、いろんなことをスタートされているな、工夫されているなというのは、昨年お聞きしたときからまたちょっと変わってきて、面白いなと思いながら聞かせていただきました。

他に特段ご意見がないようでしたら、議題3についてはこれで終わらせていただいて、事務局のほうにお返しします。

事務局

次回の令和3年度第2回生活支援サービス部会ですが、令和4年、2022年2月18日、金曜日の午後2時からを予定しております。時期が近づいてきましたら開催案内をお送りさせていただきますので、ご参加お願いいたします。

部会長

それではこれで本日の生活支援サービス部会を終了させていただきます。ありがとうございました。